

よりよい「議員通信簿」にするために

17/5/6 市民オンブズ尼崎 総会記念講演
全国市民オンブズマン連絡会議 事務局 内田隆

1.自己紹介

2.なぜ「議員通信簿」か

「ジバン・カンバン・カバン」から「政策重視」

投票率の低下・議員不信

地方分権の流れ

3.これまでの取り組み

1)「議会閉鎖度ランキング」と「議員通信簿」の違いは？

議会の情報を公開することは当然。

2) そもそも市民が議員を「評価」するとは？

3) 対象は「国会議員」「地方議員」か

国会 NPO 法人 万年野党 質問回数・質問時間・議員立法提案件数・質問主意書提出件数
同僚議員・職員・有識者・有権者による質問力評価

発表時期は？

4) 過去評価項目（地方議会）

- ①本会議・委員会発言回数
- ②寝ていないか・欠席・遅刻・中途退席・雑談
- ③議会報告
- ④公費助成
- ⑤資産公開
- ⑥請願・陳情受付状況
- ⑦政務活動費金額
- ⑧発言内容の評価
- ⑨政務活動費内容と発言内容の関係
- ⑩口利き・働きかけ記録
- ⑪公約実現度
- ⑫基礎的能力、行政チェック度、人間性、特性、好感度

5)これまでの取り組み

2007年 豊橋市・春日井市・瀬戸市・半田市・名古屋市①

2008/1/11 朝日新聞

仙台市、多摩市、小平市、国立市、東大和市、相模原市、藤沢市、箕面市、尼崎市

2011年- 仙台市②⑧

福岡市⑧

2012年 岡崎市⑧

2013年 尼崎市議会①②④⑤ 【資料1】

名古屋市・愛知県⑧ 【資料2】

奈良市議会①②

2015年 相模原市②③⑪⑫

兵庫県①②④⑤ 【資料3】

愛知県①⑥⑦ 【資料4】

京都市⑧⑨

2016年 口利き全国調査⑩

瑞穂市①

6)2013年1月15日 名古屋市議会「議員本会議質問ランキング」発表前に議員に意見を聞く

<http://www.omnagoya.gr.jp/tokusyuu/giin/130115nagoya.pdf>

- ・本会議の質問だけで議員を評価するのは疑義
- ・「発言していない」議員は「失格」か？

7)2015年8月 愛知県議会「政務活動費の政治目的利用を調査する」

<http://www.nagoya.ombudsman.jp/data/160227-2.pdf>

- ・政務活動費 人件費+事務所を多く使えばトップ当選しやすい？
- ・引退議員はあまり質問せず。いっぱい質問すると落選の危機？

8)口利き記録調査 2016年9月 <https://www.ombudsman.jp/taikai/kuchi2016-2.pdf>

「すべての口利き・働きかけ」を記録しているか 福井市【資料5】

記録はネットで公開されているか

- ・奈良市要望等記録制度の運用状況公表【資料6】

<http://www.city.nara.lg.jp/www/contents/1308211537415/index.html>

4.今後に向けて

投票日だけが主権者か？「主権者」か「有権者」か

評価する主体は？「市民」しかできないことは？

※以下は議会としてホームページに掲載可能ではないか？

- ① 議員発言回数 ④公費助成 ⑤資産公開 ⑥請願・陳情
- ⑦政務活動費金額 ⑩口利き・働きかけ

5.最後に

議員を評価し続けるには？

- ・議会ウォッチャー・仙台

<http://gikai-watcher.net/>

- ・相模原市議会をよくする会

<http://yokusurukai.main.jp/>

- ・名古屋市民オンブズマン

<http://www.omnagoya.gr.jp/>

- ・議員通信簿連絡会議・自治体議員の通信簿をつける会（愛知県）

<http://blog.goo.ne.jp/giin-tsushinbo>

- ・みんなの瑞穂・明日をつくる会

- ・京都・市民・オンブズパースン委員会、市民ウォッチャー・京都

<https://www.ombudsman.jp/taikai/1-kyoto.pdf>

- ・市民オンブズ尼崎

http://blog.livedoor.jp/obd_ama/

- ・政策研究ネットワーク「なら・未来」

http://d.hatena.ne.jp/nara_mirai/20130627/1372496127

- ・市民オンブズマン福岡

<http://www.ne.jp/asahi/ombuds/fukuoka/>

- ・久喜市議 猪股和雄

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tomoni/gikai/hatugen.htm>

- ・NPO 法人 万年野党

<http://yatoojp.com/>

- ・議員評価に関する参考文献一覧 平成18年4月25日 宮沢昭夫まとめ

<http://miyazawaakio.dee.cc/contents/hirakaretagikai/giinhyoukabunken.htm>

2009年～2013年 尼崎市議会議員通信簿一覧表 〔資料1〕

党派	議員名	A 代表・ 一般質問・ 総括質疑 回数	点 数 (配点30点)	B 以上 発言 した 回数	点 数 (配点20点)	C 常任 委員 会 で の 委 員 の 割 合 (%)	点 数 (配点10点)	D 本 会 議 遅 刻 、 退 出 等 時 間 (分)	点 数 (配点10点)	E 本 会 議 欠 席 日 数	点 数 (配点5点)	F 選 挙 公 費 助 成 受 取 額 (円)	点 数 (配点10点)	G 資 産 公 開 状 況	点 数 (配点10点)	合 計 点 数 (満 点 95点)	合 計 点 数 (100点満点換算)	あ な た の 判 定 は ?
新 政 会	荒木 伸子	7	15	75	15	8.33	8	147	7	1	4	660,500	1	×	0	50	53	
	上松 圭三	4	9	29.17	6	20.83	5	0	10	0	5	600,909	2	×	0	37	39	
	上村 富昭	5	11	5.26	2	36.84	2	0	10	4	1	747,100	0	×	0	26	27	
	北村 保子	4	9	0	0	0	10	204	5	0	5	703,973	0	×	0	29	31	
	高岡 一郎	4	9	21.05	5	26.32	4	416	1	4	1	766,977	0	×	0	20	21	
	津田 加寿男	7	15	5.56	2	11.11	7	0	10	0	5	626,538	2	×	0	41	43	
	寺坂 美一	11	24	25	5	0	10	32	9	0	5	676,392	1	×	0	54	57	
	寺本 初己	0	0	54.17	11	4.17	9	626	0	0	5	697,392	1	×	0	26	27	
	波多 正文	3	6	24	5	4	9	0	10	0	5	250,516	9	×	0	44	46	
	丸山 孝宏	7	15	11.54	3	38.46	2	0	10	0	5	709,537	0	×	0	35	37	
丸岡 鉄也	5	11	9.09	2	0	10	0	10	0	5	382,416	7	×	0	45	47		
公 明 党	眞田 泰秀	6	13	4.55	1	13.64	7	0	10	0	5	273,000	9	○	10	55	58	
	杉山 公克	4	9	65.38	14	3.85	9	0	10	0	5	273,000	9	○	10	66	69	
	仙波 幸雄	6	13	20.83	5	16.67	6	※278	4	2	3	273,000	9	○	10	50	53	
	土岐 良二	5	11	0	0	40	2	※246	5	0	5	273,000	9	○	10	42	44	
	開 康生	6	13	29.41	6	5.88	8	0	10	0	5	273,000	9	○	10	61	64	
	福島 さとり	6	13	19.05	4	9.52	8	0	10	0	5	273,000	9	○	10	59	62	
	前迫 直美	6	13	24	5	16	6	12	9	0	5	273,000	9	○	10	57	60	
	真鍋 修司	3	6	58.82	12	0	10	0	10	0	5	273,000	9	○	10	62	65	
	安田 雄策	3	6	41.18	9	5.88	8	60	8	0	5	273,000	9	○	10	55	58	
	緑 の か け は し	鬼塚 三代	8	17	15.38	4	19.23	6	0	10	0	5	961,000	0	○	10	52	55
酒井 一		8	17	69.57	14	0	10	0	10	3	2	493,844	5	○	10	68	72	
須田 和		12	26	25	5	0	10	23	9	0	5	395,594	7	○	10	72	76	
高濱 黄太		12	26	78.26	16	4.35	9	0	10	0	5	558,600	3	○	10	79	83	
田中 淳司		12	26	88	18	0	10	0	10	0	5	266,731	9	○	10	88	93	
都築 徳昭		8	17	77.78	16	0	10	0	10	4	1	479,049	5	○	10	69	73	
弘中 信正		11	24	70	14	0	10	0	10	0	5	439,724	6	○	10	79	83	
新 風 グ リ ー ン ク ラ ブ		北村 章治	4	9	31.25	7	0	10	0	10	0	5	490,582	5	×	0	46	48
	小柳 久嗣	9	19	91.67	19	4.17	9	58	8	0	5	576,650	3	○	10	73	77	
	塩見 幸治	6	13	70.83	15	4.17	9	47	9	0	5	164,014	10	○	10	71	75	
	宮城 亜輻	5	11	63.16	13	0	10	20	9	0	5	617,496	2	○	10	60	63	
	明見 孝一郎	7	15	0	0	25	5	0	10	0	5	355,279	7	×	0	42	44	
	森村 太郎	8	17	0	0	7.69	8	※239	5	1	4	229,302	9	○	10	53	56	
	和田 周治	7	15	28	6	12	7	0	10	0	5	402,431	6	×	0	49	52	
日 本 共 産 党 議 員 団	田村 征雄	14	30	100	20	0	10	0	10	0	5	563,717	3	○	10	88	93	
	辻 修	8	17	100	20	0	10	16	9	0	5	531,883	4	○	10	75	79	
	早川 進	8	17	91.67	19	0	10	142	7	3	2	546,133	4	○	10	69	73	
	広瀬 早苗	6	13	87.5	18	4.17	9	0	10	4	1	521,050	4	○	10	65	68	
	真崎 一子	9	19	56	12	0	10	0	10	0	5	579,205	3	○	10	69	73	
	松村 ヤス子	10	21	84.21	17	10.53	7	※229	5	5	0	563,050	3	○	10	63	66	
	義村 玉朱	6	13	61.54	13	0	10	213	5	0	5	254,140	9	○	10	65	68	

※黒塗りはファースト5に入ったデータ

※本会議場で仙波幸雄氏 246分、土岐良二氏 246分所要のため遅刻届けあり、松村ヤス子氏 229分通院のため遅刻届けありとのアナウンスあり。森村太郎氏は、239分早退の翌日、急引きで欠席。

♪あなたが成績をつけて下さい♪ (○・×・△)

名古屋市議会・議員本会議質問ランキング

2013年1月15日
名古屋市民オンブズマン

3 調査の方法と基準

(1) 概要

調査は各議会の本会議の議事録を熟読し、個人質問の方法につき、①事前の調査をしているか、②他都市との比較をしているか、③改善案を提案しているか、の3つの観点からテーマ1件ごとに加点する方法で採点した。

これに加えて、質問の内容の観点からも評価した。

調査は同一の議事録を複数のメンバーが熟読して評価することとし、一次評価結果を各議員個人に送付して意見を聴取し、意見を元に再検討をする方法によった。

(2) 質問方法に対する基準

①事前・現場調査(4点)

0点 全くしていない

1点 質問に特化した事前の調査をしている（「新聞テレビニュースで見た」、「議会で質問があった」というだけでは事前の調査と評価しない）

2点 質問に特化した事前の調査に加え、現場の調査をしている（現場調査をしたと同視できる程度に詳細な事前調査をした場合も含む）

3点 2+分析、評価もしている

4点 2+分析、評価のやり方が予算措置まで踏み込んでいるか、それと同視できる詳細な評価を行っている。

【説明】質問のために質問者が特別の調査を行ったと議事録から見て取れるか、という視点からの評価である。言うまでもなく、内容のある質問をするためには、事前調査が不可欠だ。事前調査を疎かにしたままの質問は、担当者に聞けばわかることをわざわざ聞くなど、ムダな時間を費やすばかりだ。質問時間に制約のある現状の運用では、なおさらである。反対に、質問者が十分な調査のもと、予算措置についてまで検討した質問がなされれば、それだけでも説得力のある問題提起であり、議会による世論形成機能に資すると言える。

②他都市の比較(2点)

0点 全くやっていない

1点 やっている（結果だけ）

2点 担当者に会っている、または、会っていないでも他都市との違いを根拠まで踏み込んで具体的にしている

【説明】どのような内容を質問するにしても、他の都市の事例を検討して参考にすることは必要ではないだろうか。仮に他の都市で実施していない政策の提言をするに際しても、類似の事例や参考となる事例を検討することは有効であり、必要である。

③改善案(3点)

0点 全く無し

1点 問題点を具体的にしているか、何らかの改善案を提示している（単なる要望は改善案とは評価しない）

2点 具体的改善案が示されている

3点 予算措置まで踏み込んだ改善案が示されているか、それと同視できる程度の具体性・実現可能性のある改善案が示されている

【説明】 議会がチェック機能を果たすために最も重要な点である。この質問で質問者は一体何が言いたいのか、市民に伝わってくる形で問題を指摘できるよう準備と工夫をすることは、議員の基本的な仕事ではないだろうか。問題点の指摘すらなされていない場合など、行政のチェックを果たしたことはない。また、単に要望を市当局に伝えるだけでは、真剣さが伝わってこないばかりか、世論も形成できない。

(3) 調査内容についての評価

質問内容についての評価もおこなった。本来の議会と執行部との緊張関係を維持するためには、議員が的確なテーマを選定することが必要だからである。すなわち、いくら詳細に事前調査をしたとしても、当該自治体の問題として取り上げるだけの必要性のないテーマについては、質問に立った議員自身、問題点の掘り下げも改善案の提示などもできる筈がない。抽象的な結論めいた意見の表明で終了する質問なども、テーマの選定がまずいことに起因することも多い。しかし、私たちが議員に期待するのは、自治体行政の問題点を鋭くえぐる視点の提示と市民の世論を形成するに足る対策の提示である。そういった観点から、質問のテーマの選定や質問方法がまずいとおもわれるものをパターン化し、A,B,Cで示した。

A：事前に関連資料を情報公開請求で入手するか、担当部署の職員に確認すれば足りる質問（今どうなっていますかA）

【説明】 事前調査が不十分な場合に起こる。テーマ選定からして勉強不足が明らかになっている。ただ、これと類似するものとして、当局から言質をとることが目的で行う質問もある。議会で答弁させることで、政策変更をさせないために行う、という手法は私たちも否定するものではない。したがって、議会で答弁させることを目的としたことが議事録上明らかなものについてはAとは評価しなかった。

B：当該課題（制度）の趣旨・意義、国と世論の動向、識者の指摘、市と所属会派の対応と現在までの経過等を解説し、それに質問者の抽象的私見を加え、当局の認識、所感、方針を問う質問

【説明】 要するに、質問なのか、応援演説なのかわからないものを示す。首長の政策に賛成の議員がよく行うものだ。しかし、議会の使命が執行部の政策のチェックにある以上、批判できないテーマを選ぶこと自体、誤りだ。

AB：AとBの混合したもの

【説明】 文字通り。これも珍しくないが、中には質問というよりも議員が感想を述べているだけのようなものもある。

C：首長を単に批判するもの（政策批判と評価できるものはCと評価しない）

【説明】 首長に対する単なる誹謗中傷といえるものに記した。質問者の意思は市長の資質に係わる論点を提示しているつもりであろうが、質問としては生産的でない。最初はおもしろおかしく感じられても、ベタな批判ばかりだと市民の関心も遠のく。残念な質問というほかない。

議員名(会派名)	代表質問	一般質問	臨時会 質疑	討論	合計	会議日数 (日)A	総発言回 数B	会議1回あた りの発言回数 B/A	発言ゼロ の会議日 数C	発言ゼロの 会議の割合 C/A	備考(委員 当年度等)
あしだ賀津美(公明党)		4			4	63	68	1.08回	34	54.0%	
池畑 浩太郎(無所属)		2			2	58	36	0.62回	37	63.8%	
石井 健一郎(民主党)	2	2			4	61	20	0.33回	52	85.3%	
石井 秀武(民主党)	3	1			4	70	32	0.46回	50	71.4%	
石川 憲幸(自民党)	2	1			3	60	60	1.00回	42	70.0%	
石堂 則本(自民党)	1	1			2	60	71	1.18回	35	58.3%	
石原 修三(県政クラブ)		2		1	3	61	92	1.51回	30	49.2%	
いそみ 恵子(共産党)		2		12	14	64	342	5.34回	9	14.1%	
伊藤 勝正(公明党)	1	3	1		5	59	30	0.51回	45	76.3%	
伊藤 傑(自民党)		4			4	63	74	1.17回	33	52.4%	
井上 英之(自民党)	1	1			2	24	19	0.79回	15	62.5%	H23・H24
岩谷 英雄(自民党)					0	57	10	0.18回	51	89.5%	
上田 良介(自民党)		3			3	58	25	0.43回	45	77.6%	H26
上野 英一(民主党)		3		1	4	22	30	1.36回	13	59.1%	H23・H25
上山 隆弘(自民党)		1			1	6	1	0.17回	5	83.3%	補選当選
榎本 和夫(自民党)		4			4	58	14	0.24回	53	91.4%	
大谷 かんすけ(自民党)		4	1		5	40	32	0.80回	24	60.0%	H25
大塚 たかひろ(民主党)	2	1	1		4	38	4	0.11回	35	92.1%	H24・H26
大野 ゆきお(公明党)		2			2	46	134	2.91回	12	26.1%	
大前 はるよ		3			3	61	63	1.03回	35	57.4%	任期途中
小田 毅(民主党)	1	1			2	62	16	0.26回	53	85.5%	
掛水 すみえ(民主党)		2			2	57	101	1.77回	24	42.1%	
梶谷 忠修(自民党)		1			1	61	58	0.95回	39	63.9%	
加田 裕之(自民党)		2			2	42	41	0.98回	29	69.1%	H23
釜谷 研造(自民党)					0	62	116	1.87回	29	46.8%	
加茂 忍(自民党)					0	61	58	0.95回	38	62.3%	
川井田 清信(自民党)		4			4	61	23	0.38回	49	80.3%	
岸口 実(民主党)	1	3			4	66	110	1.67回	18	27.3%	
岸本かすなお(公明党)	4		1	1	6	45	28	0.62回	29	64.4%	H25
きだ 結(共産党)		2	1	12	15	59	334	5.66回	6	10.2%	
北川 泰寿(自民党)					0	59	29	0.49回	42	71.2%	
北野 実(自民党)	1	3		1	5	56	52	0.93回	37	66.1%	H26
北浜 みどり(自民党)		4	1	1	6	61	88	1.44回	26	42.6%	
桐月 一邦(無所属)		1			1	20	2	0.10回	18	90.0%	
粟山 雅史(民主党)	1	2		1	4	63	89	1.41回	29	46.0%	
黒川 治(自民党)	2	1			3	63	40	0.63回	43	68.3%	
黒田 一美(民主党)		3			3	60	76	1.27回	31	51.7%	
小池 ひろのり(民主党)	1	2			3	60	77	1.28回	34	56.7%	
合田 博一(公明党)	2	1			3	62	37	0.60回	49	79.0%	
越田 謙治郎(民主党)	1	2		1	4	60	118	1.97回	20	33.3%	
越田 浩矢(公明党)		4			4	62	43	0.69回	39	62.9%	
五島 たけし(自民党)		1			1	61	20	0.33回	51	83.6%	
小西 隆紀(自民党)	1	2		1	4	45	10	0.22回	40	88.9%	H25
幣原 みや(自民党)		4	1		5	60	53	0.88回	36	60.0%	
しの木 和良(公明党)	1	3		3	7	39	83	2.13回	11	28.2%	H24
島山 清史(公明党)		4			4	63	66	1.05回	35	55.6%	
下地 光次(公明党)	1	3		2	6	43	37	0.86回	27	62.8%	H23
新原 秀人		1			1	21	0	0.00回	21	100.0%	
杉本 ちさと(共産党)		2	1	10	13	61	228	3.74回	12	19.7%	
高橋 しんご(自民党)	1	3			4	43	36	0.84回	35	81.4%	H25
竹内 英明(民主党)	1	2			3	24	75	3.13回	7	29.2%	H23・H25
立石 幸雄(自民党)					0	61	45	0.74回	43	70.5%	
谷井 いさお(公明党)	2	2		6	10	58	90	1.55回	29	50.0%	H26
谷口 俊介(自民党)		4			4	62	21	0.34回	46	74.2%	
徳安 淳子(維新の党)	1	2			3	62	33	0.53回	47	75.8%	
内藤 兵衛(自民党)		4			4	42	17	0.40回	30	71.4%	H24
長岡 壯壽(自民党)	1	1			2	63	62	0.98回	40	63.5%	
中田 英一(県政クラブ)		2		3	5	57	66	1.16回	27	47.4%	
仲田 一彦(自民党)		3		2	5	42	24	0.57回	31	73.8%	H25
永田 秀一(自民党)					0	62	34	0.54回	47	75.8%	
永富 正彦(民主党)	1	1			2	63	68	1.07回	37	58.7%	
中野 郁吾(維新の党)					0						補選当選
ねりき 恵子(共産党)		2	1	8	11	66	249	3.77回	7	10.6%	
野口 裕(公明党)					0	62	102	1.65回	27	43.6%	
野々村竜太郎		2	1	5	8	56	45	0.80回	11	19.6%	
野間 洋志(自民党)	2	1			3	59	39	0.66回	44	74.6%	
浜田 知昭(自民党)		4			4	60	29	0.48回	45	75.0%	
原 吉三(自民党)					0	61	22	0.36回	53	86.9%	
原 テツアキ(自民党)		3		1	4	53	53	1.00回	20	37.7%	H26
春名 哲夫(自民党)		4			4	63	37	0.59回	38	60.3%	
日村 豊彦(自民党)					0	59	45	0.76回	39	66.1%	
藤井 訓博(民主党)		2			2	60	97	1.62回	30	50.0%	

政務活動費の政治目的利用を調査する

2015年8月 名古屋市民オンブズマン

第2 調査方法と結果

1 事務所の賃料と人件費の集計と選挙結果

(1) 各議員を、これを本年4月に行われた選挙の結果をもとに、①無投票当選 ②1位当選 ③2位当選 ④3位以下当選 ⑤落選 ⑥引退(出馬せず) ⑦途中辞職 にグループ分けし、2011年5月から2015年3月までを通算して、愛知県議会の各議員が支出した政務活動費のうち、人件費と事務所家賃(金額算定可能な2013年4月から2015年3月まで)とに支出された金額を合算し、各グループ毎に平均値をとった。

なお、調査対象とした政務調査費(活動費)の支出額(事務所家賃、人件費を含む)は、議会に当初に提出された収支報告書に基づく金額をもとにした。

(2) 結果は、最も支出の平均金額が高額なグループは1位当選のグループ、以下支出額が多い順に、2位当選、無投票当選、3位以下当選、引退、落選、途中辞職となった。途中辞職については、任期が短いためにデータとしての意味はないが、注目すべきは、1位、2位当選が当選順と支出額順が一致している一方で、落選組が事務所家賃と人件費の支出額が最も小さい、という、選挙結果と比例する結果となったことだ。特に、熾烈な選挙戦を戦って勝利したことが想像できる1位、2位グループが政務調査費から賃料、人件費をより多く支出していることは、政務活動費が政治目的につかわれているのではないか、という私たちの疑念を強くする。

2 議会活動の実態と政務活動費コスト

(1) しかし、事務所賃料と人件費の支出額を比較するだけで、政務活動費を選挙により多く用いていた、と結論付けることはできない。1位当選者は、多額の事務所家賃や人件費を必要とする調査を行い、これを生かした議会活動を積極的に行い、有権者から高い評価をうけたからだ、ということもあり得るからである。

そこで次に、各議員について、愛知県議会のwebに記載されている任期中の本会議での代表質問、一般質問、質疑、委員会の各発言、請願紹介件数を対象として、それぞれを点数化してポイント加算した。加算方法は、本会議の一般質問をした場合には、1回について5ポイント、本会議の代表質問をした場合には1回について3ポイント、質疑、委員会質問については1回について1ポイント、請願の紹介議員になった件数を1件につき1ポイントとして合算した。本会議での一般質問よりも代表質問のポイントを低くしたのは、代表質問が会派において質問者が決められ、質問内容についても、議員個人の調査による度合いが一般質問よりも低いことを考慮した結果である。ポイント数が多い議員ほど、任期中に積極的に議員活動を行っていることとなる。

その結果、ポイント数の平均では、無投票当選議員が43ポイント、1位当選議員が45ポイント、2位当選議員が46ポイント、3位以下の当選議員が39ポイント、落選議員が41ポイントと、ほぼ40ポイント前半という結果となった。

(2) 次に、各議員毎に、2011年5月から2015年3月までに支出した政務活動費の金額合計(当初提出の収支報告書記載額)を分子とし、加算したポイント数を分

母として、政務活動費の総支出額をポイントで除した値を算出した。政務調査費の支出が少ないにもかかわらず、積極的に議会活動や議会での発言を行っている議員は1ポイントあたりの金額が小さくなる。いわば、政務活動費の有効活動度を測ることができる。

- (3) 最も1ポイントあたりの政務活動費の値が大きいグループは引退議員のグループで、1ポイントあたり平均1,496,289円となる。引退議員は多額の政務活動費を支出しているが、議員活動が低調であることは明らかであり、政務活動費の有効活用度が最も悪いと言わなければならない。

一方、1ポイントあたりの値が最も小さいグループは落選議員のグループで、平均381,587円で、引退グループの4分の1程度である。当選議員では、無投票当選グループが606,486円、1位当選と3位当選が約50万円、2位が約70万円となった。このうち、2位当選グループには、議員活動が極めて低調な議員が含まれるため、平均値が上がったとみられるが、この議員を除けば概ね50万円ほどとなる。

このことから、無投票当選のグループの議員活動が低調であるほかは当選組について特に突出した値はなかった。

3 調査結果

当選議員については、議員活動の積極度に特別な差はなく、かつ、議員活動に要する政務活動費のコストには差がない。しかし、事務所賃料や人件費に対する政務活動費の支出についてみると、その額の大きさが選挙結果と比例する、という結果となった。事務所や人件費に多額の政務活動費を用いているが、議員活動の積極度や議員活動にかかる政務活動費には差がないのである。

こうしてみると、政務活動費の支出に占める事務所家賃や人件費の割合が多い議員ほど、当選しやすくなる、という結果となった。

事務所賃料や人件費など、意見交換を目的とする、と説明される政務調査費が、実質的には選挙目的につかわれているのではないか、という私たちの疑念を裏付けるものとなった。

愛知県議会 政務活動費 事務所費+人件費と当落、1ポイント当たりの額

	無投票 当選	1位当選	2位当選	3位以下 当選	落選	引退	途中 辞職
(人件費+ 事務所費) 平均	6,840,697	8,189,759	7,214,477	6,876,059	6,578,959	6,669,455	3,581,044
1ポイント 当たり 政務活動費	606,486	515,459	715,256	513,743	381,587	1,496,289	1,210,864

※人件費は2011年5月～2015年3月までの合算。

事務所費は2013年4月～2015年3月までの合算。

※2011年5月～2015年4月までに愛知県議会本会議・委員会で発言した際、本会議一般質問を5ポイント、本会議代表質問を3ポイント、本会議質疑と委員会質問を1ポイント、請願の紹介議員となった回数を各1ポイントとして、1ポイント当たりの金額を算出した。

様式(第3条関係)

職務に関する働きかけ受付記録票

受付 No.

部 等	農業委員会事務局		課 等			
						
受付日時	2016年9月15日(木) ~ 2016年10月6日(木)	受付者 職・氏名	農業委員会事務局 局長 石川行芳 			
記載日時	2016年9月15日(木) ~ 2016年10月6日(木)	記載者 職・氏名	農業委員会事務局 局長 石川行芳 			
対象者氏名	福井市議会 谷本 忠士 議員					
対象者住所	福井市  (電話 )					
受付方法及び場所	<input type="checkbox"/> 1 来庁 (場所: 福井市農業委員会事務局長室) <input type="checkbox"/> 2 電話 (場所: 福井市農業委員会事務局長室) <input type="checkbox"/> 3 その他 ()					
種類	<input type="checkbox"/> 1 要望 <input type="checkbox"/> 2 相談 <input type="checkbox"/> 3 その他()					

受付内容	
件 名	農地の違反転用 (太陽光発電設備設置) について
(要旨) 地目変更申請に係る法務局照会の件について、地目変更が可能となるような回答をするよう働きかけを受けたもの。なお、当該土地に農地が含まれており、既に太陽光発電設備が設置済で、違反転用 (農地法第5条違反) の状況が確認された。	

対応結果	
<input type="checkbox"/> 1 対応しない <input type="checkbox"/> 2 要検討 <input type="checkbox"/> 3 対応する <input checked="" type="checkbox"/> 4 その他 (法令、通達その他運用規定に従い厳正に対処する。)	
問題点・対応策 : 地権者から法務局への地目変更申請が取り下げられたため、法務局から農委への照会も取り消された。従って、照会に対する回答のために県に意見を求めることは行わない。しかし、違反転用状態に変わりない。現在、本市 GIS の当て込み図と申請書類の当て込み位置に誤差がみられるため、申請のあった全筆の位置について精査している。確認が取れ次第、地権者に違反転用是正の指導書を送付する予定である。その後、農地法 51 条の規定を踏まえながら、地権者と協議していくこととなる。地権者に指導書を送付する前に、顧問弁護士への法律相談を行いたい。	

要望等の記録一覧表(平成28年8月分)

No.1	【要望者職名・氏名】	山本 憲宥 奈良市議会議員
【件名】	忍辱山町～大柳生町地内の東海自然歩道修繕について	
【要望等の概要】		
東海自然歩道を通行する歩行者の安全確保の為、道路面の亀裂・陥没修繕、道路肩崩壊復旧、水たまり等の道路排水改善を要望します。		
【対応方針等の概要】		
事前に自治会同行で現地確認・調査立会を行い、緊急性や通行に支障がある箇所を優先して修繕等を検討しますと回答しました。		
【担当部署】	道路維持課	

No.2	【要望者職名・氏名】	藤田 幸代 奈良市議会議員
【件名】	①街路樹の剪定について ②舗装面補修について	
【要望等の概要】		
①朱雀五丁目地内のT字路付近のカーブミラー及び道路標識が街路樹が茂って見えづらいので剪定を要望します。 ②学園朝日元町一丁目地内及び中山町西三丁目地内の市道舗装面に穴があいているので補修をお願いします。		
【対応方針等の概要】		
① 現地確認・調査を行い、機能に支障がある場合は剪定しますと回答しました。 ② 応急措置として早急に対応しますと回答しました。		
【担当部署】	道路維持課	

No.3	【要望者職名・氏名】	高杉 美根子 奈良市議会議員
【件名】	横断水路の清掃について	
【要望等の概要】		
六条西一丁目の市営五条山住宅東側道路の横断側溝に泥等が溜まり、雨で水が溢れるため対応してほしい。		
【対応方針等の概要】		
市道ではないが行政財産道路として管理している道路であり、現地を確認し対応しますと回答しました。		
【担当部署】	道路維持課	